

活動日	時間	天候	記録者
2018年2月8日(木)	9:30~12:00	(晴)	(菅田)
2018年2月28日(水)	9:30~12:00	(晴)	

参加者氏名 (9名+9名)	(2月8日) 松本治美、山田喜義、米倉進、水島康夫、菅田忠志、塩ノ谷年子、橋野美子、田路義弘、俵貴志子、
	(2月28日) 黒子兵吾、菅田忠志、水島康夫、田路義弘、山田喜義、松本治美、塩ノ谷年子、橋野美子、南木久枝

今回実施した作業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨秋の台風で幹の途中から折損していたコナラの老木をチェーンソーで伐倒。 2. 同伐倒木の現場での枝落とし、玉切り作業。この作業は3月にも継続。 3. 運搬可能な範囲で小枝の搬出作業を行う。 4. 搬出小枝のチップ掛け作業。 5. 昨秋拾って持ち帰り、自宅で根を出させたクヌギどんぐりを持ち込み、ポット植え。秋には子どもたちに植樹をしてもらう予定。 6. カブトムシ幼虫が眠る生育場所への枯葉の掛け増し作業。
------------	---

写真説明



先月に引き続き、台風時の破損木の搬出を順次進めていく。まず、小枝や中枝など可能なものから搬出。



搬出してきた小枝類をチップ掛け。未処理の小枝が多く溜ってきた。



樹高の中間から折損し、上部が垂れ下がった状態の大径木。このままでは放置できないので伐倒作業 大径ながら老木ゆえの折損かもしれない。ナラ枯れを誘因する害虫“カシノナガキクイムシ”も勢いが衰えた大径老木を狙って侵入すると聞く。



大径木は伐倒してからも厄介な作業が残る。搬出可能な長さ・重さに玉切り後、後日搬出。

チェーンソーは作業後の、ヤスリ掛けによるメタテも大切な作業。



今月、女性メンバーには、カブトムシ生育場所への枯葉の補充と、昨秋拾って持ち帰り、根を出させたクヌギどんぐりを今回持ち込みポット植え。秋には子どもたちに植樹をしてもらう予定。